

# ケアマネジャー

～鎌倉ケアマネ連絡会広報誌～

第 27号

編集発行：鎌倉ケアマネ連絡会

発行責任者：佐藤 秀之

発行日：令和3年3月吉日

## 代表挨拶



鎌倉ケアマネ連絡会

代表 佐藤 秀之

## 『継続・進化』

2020年は新型『コロナ』ウイルスが世界的に猛威をふるった1年となりました。感染抑制対策などにより、様々な活動が縮小し、ソーシャルディスタンスやテレワーク（在宅勤務）など新たな経済活動形態へのシフトも『コロナ』によって生じた2020年の特徴と言えます。

そのような中、2021年4月介護報酬改定が施行されます。

- ① 感染症や災害への対応力強化
- ② 地域包括ケアシステムの推進
- ③ 自立支援・重度化防止
- ④ 介護人材の確保・介護現場の革新
- ⑤ 制度の安定性・持続可能性の確保

特に感染症や災害への対応力強化が求められ、事業継続計画（BCP）は必須（3年間の経過措置ある）となります。何をどうしたらいいのか・・・？

事業を継続していくにあたり、各事業者内ではもちろん、保険者の考えや方向性を強く打ち出していく必要性を感じております。

そもそも介護人材が不足していて、サービス提供者の高齢化がすすんでいる状況にある中で、更に感染症や災害等によりサービス提供が難しくなる事も視野に入れていかなければなりません。

介護保険事業者が単体で解決できる問題に取り組むだけではなく、「保険者」と協力しALL鎌倉で、その準備や仕組み等を作ることが重要となるのではないのでしょうか。

また、ICT化の必要性を感じてはおりますが、デジタル化できない事が沢山あります。デジタル化はあくまでもツールであり、この時代にマッチングしていくための手段だと思います。

我々は、それらを駆使して利用者とのどのように関わりを持っていくのか、またそれを継続していくのかを考えた1年となりました。

この1年、満足な活動も出来ず、会員の皆様にはご迷惑おかけした事と思います。

まだまだトンネルの出口が見えない状況で、それでも前に進んで行く事を意識して、新たな年度も活動していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 鎌倉の歴史を知ろう！

## 鎌倉歴史コラム 鎌倉ケアマネ連絡会

制度が始まった翌年の6月15日に鎌倉ケアマネ連絡会はスタートしました。介護保険サービス展開の要になることから、県内でもいち早く組織化されました。初年度はアセスメントから計画作成、ケアマネジメントなど試行錯誤の一年でした。スキルアップの研修会を企画し、学びと交流の場を隔月に持ち、2001年には連絡会としての会則を作成し法人の中に組織化し、元県立保健福祉大学の峯尾武巳先生を講師に迎え、本格的に自主的な活動が始まりました。次号は月例勉強会サロンみちくさについて書きますね！（樽井）

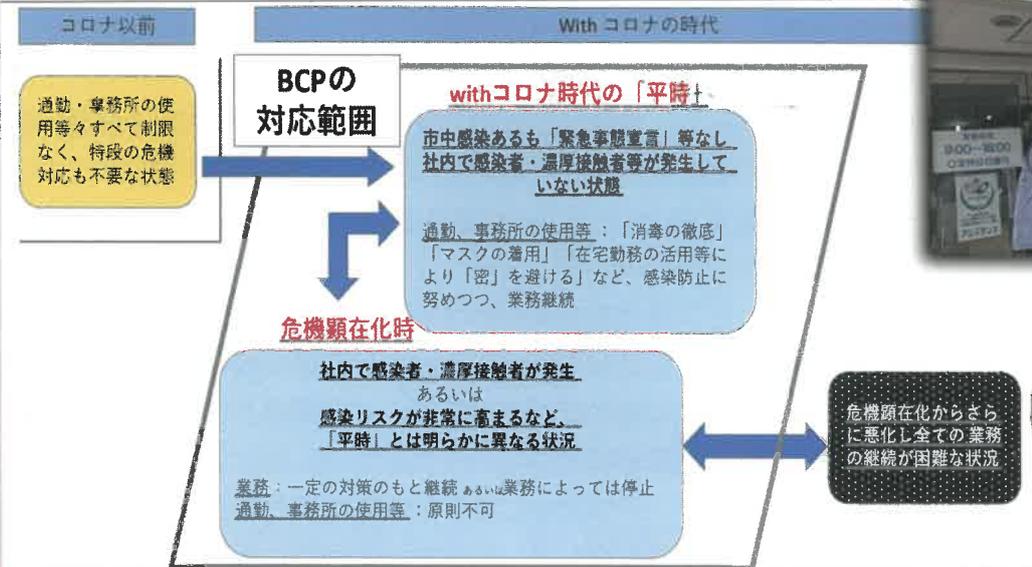


### ケアマネジャー 紹介コーナー

# アシスタンス

当事業所は、ケアマネ5名体制（男性3名女性2名）の事業所です。コロナ禍において社内でBCP（事業継続計画）を作成して陽性者を出さない、陽性者が出ても混乱しないような体制をとっています。

### 危機状況の区分とBCPの対応範囲



社内で共有したBCP 平時と危機顕在化時と分けて、対応方法を決めています。

Q. 具体的にどんな工夫をしていますか。

・テレワークを導入するために、自宅にいながら会社のパソコンを操作できるようにし、各自の携帯電話から会社の番号で電話できるようにしています。

Q. 困っている点は何かありますか。

・直接会えていない方もいるので体力が落ちていないか、心配な面もあります。

## 研修部会

### “研修会” ようやく開催できました

令和2年度の研修会は、なかなか始動できませんでした。

新型コロナウイルス感染予防のため、そもそも“集まる”という形から、頭を切り替えなければならぬ…。

これまでは講師が居て、受講生（参加者）が居て、グループワークがあって…  
しかし、これまでの形はダメ！新たな形へのチャレンジでした。



いわゆるリモート型の研修の第一弾は、  
“コロナ禍におけるケアマネジメント手順について”

市役所職員からの解説、グループワークとなり、お互いが抱えている不安や葛藤について意見を交わしました。

事業所の垣根を超えて意見交換をすることで、いろいろな確認ができたことは、とても有意義だったと思います。

そして何より、初めてのオンライン研修会。  
企画側も、どれだけ準備しても不安が拭えないまま当日を迎えることになりました。

“初めてだから失敗は無い！頑張ろう！”と気持ちを一つに取り組みましたが、皆さんの仕草やリアクション確認しにくいので、本当に難しいな…というのが感想でした。



とはいえ、今後もこの形式がメインになると想定されます。一つずつ階段を登り、より良い形を作っていきたいと思っています。

## お知らせコーナー

### 鎌倉市役所より ～介護保険事業者研修会の開催について～

研修

【開催方法】：オンライン形式（YouTube による動画配信を予定）

【内 容】：ふれあい収集、令和3年度報酬改定、その他改正点について

【公開予定】：令和3年3月23日頃

詳細については決まり次第、介護情報サービスかながわのメール配信でお知らせします。

### かまくら地域介護支援機構より

#### With コロナ から after コロナへ

漸くワクチンの接種が始まりましたが、感染拡大予防の対策に明け暮れた一年でしたね。生活様式の変容をと、叫んではいるものの生活様式を変えにくい高齢者の対応に四苦八苦なさっているケアマネさんのご苦労をお察しします。私たちはリモート会議や研修の開催にもようやく慣れて来ました。支援機構として、各連絡会への後方支援の役割が十分果たせないまま一年が過ぎようとしています。

4月からは第8期の介護保険計画が始まります。居宅介護支援に関わる改定が示されています。対人援助者として、介護を必要とする高齢者のプランづくりからソーシャルワーカーとしての領域への業務拡大が求められてきました。支援機構は、対人援助の専門職としての学びの場を確保できるようケアマネの皆さんと共に、皆様の業務を応援できるように頑張っていきたいと考えております。

#### 介護者への支援をどのようにすすめますか？

社会資源の活用をと言われて久しくなりますが、利用者のプランの中に書き込めるほど広がってはいません。鎌倉市では高齢者生活支援サポートセンター事業を平成25年度から展開していますが、現状では自立～介護度1までという制限があり、介護度2になると馴染みの関係の生活支援サポーターを終了しなければならないなどの制約があります。利用者の生きる意欲を引き出すことや介護者への支援に活用できないかと考え、ぜひケアマネの皆様と活用方法を研究していきたいと思っております。

#### 新たな社会資源の開発と活用を考えてみませんか

かまくら地域介護支援機構は、鎌倉で暮らす高齢者を施設や在宅で支えるケアマネジャーの皆さんの後方支援の機関です。鎌倉ケアマネ連絡会の皆様の提案をお待ちしています。

### 編集後記

今回の編集後記は、担当が独断で選んだお薦めの本を3冊ご紹介いたします！

- \* 「ケアマネのための薬図鑑」中央法規出版・利根川恵子他著→図解入り、疾患に関連した解説がとても分かりやすい。事業所に是非1冊置いておきたい本。
- \* 「僕のコーチはがんの妻」KADOKAWA出版・藤井満著→あなたは大切な人に何を遺せますか？末期がんの妻からの最後の贈り物は、夫が一人で生きていくための力（料理）だった。がんの診断・余命宣告されてからの時間の過ごし方について考えさせられる。
- \* 「祈りのカルテ」角川書店・知念実希人著→研修医の連作医療ミステリーだが、患者たちの心の謎を解き明かすところがケアマネのアセスメントに繋がるものを感じる。

以上お時間がありましたらご一読ください。(A)